

「恋人の聖地」ブランド発売

知的障害のある人たちが働くうちなだ福祉作業所（内灘町大根布）の自家焙煎コーヒー工房「ひだまり」が十日、恋人の聖地ブランド「恋のかけはし」を発売した。ちょっとほろ苦く、すっきりした味わいのオリジナルブレンドで、恋人たちの楽しいひとときを演出する。（山森保）

2人の時間 味わい深く

内灘の作業所

同作業所は約五年前から自家焙煎コーヒーを手掛けるようになった。作業所併設の工房「アイ・ラブ・ハニー」を持つ。同工房の屋外カフェで、クッキー付き一杯二百円で楽しむこともできる。作業所支援員の北市聖杯（まき）は「さわやかな味で、多くの来場を呼び寄せている。バランスした恋人の聖地クッキータリ」と出来栄に自信を持って、二百七十五円。これを機に豆も商品化した。

「うちなだ砂丘」のストレートコーヒーのほか、これまでに「はまなす」「うちなだ砂丘」の二つのブレンドを商品化している。今春の内灘大橋と内灘海岸の「恋人の聖地」認定を受け、PRにひと役買おうと、新商品づくりを進めていた。

タンザニアをベースに、数種類の豆を組み合わせた、苦味、酸味、こく

「うちなだ砂丘」

コーヒー豆

「恋のかけはし」



恋人の聖地ブランド「恋のかけはし」を手配する支援員＝内灘町大根布で